

学校名 草加市立高砂小学校
所在地 草加市中央1-2-5
電話 048-924-3425

1 本校の概要

本校は創立65年目を迎え、児童数919名、29学級の大規模校である。保育園や地域のコミュニティセンターを併設し地域との連携を深めつつ、学校教育目標「あかるく、かしこく、たくましく」の具現化を図るための教育を展開している。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

読書活動の充実

(2) 実践の概要

本校は、2つの学校図書館がある。第1学校図書館は貸出を中心とした読書センターとして、第2学校図書館はコンピュータールームと隣接したメディアセンター機能とともに、市立図書館1万冊の蔵書を有している。

ア 毎週木曜日の朝読書

毎週木曜日は、読書タイムとして10分間全校読書に取り組んでいる。児童とともに、教師も本と向き合う時間である。

イ 図書ボランティアによる読み聞かせ

朝読書の時間に、各学級月に1回、図書ボランティア「ういんくる」が読み聞かせを行っている。1年生には、手作りの大型絵本で学年一斉の読み聞かせを行った。



ウ 図書委員会によるお話お届け便

図書委員会では年5回、図書委員が1～3年生の各クラスに読み聞かせを行う、「お話お届け便」をしている。低学年児童と図書委員とのふれあいと共に、図書委員が読み聞かせを通して成長する姿が見られる。



エ 高砂ブックランド

「高砂ブックランドおすすめの本」低学年50冊、中学年40冊、高学年30冊、つばさ学級20冊を選定し、各学年の読書コーナーにおいて、身近に本を読むことができる学習環境を整備している。

オ 読書月間の取組

① 読書ビンゴ

25ますに、読んだ本の題名を書き込み、5ますで1ビンゴとなる。全校で470人がビンゴとなり、図書委員特製のしおりをプレゼントした。

② 栄養教諭との連携

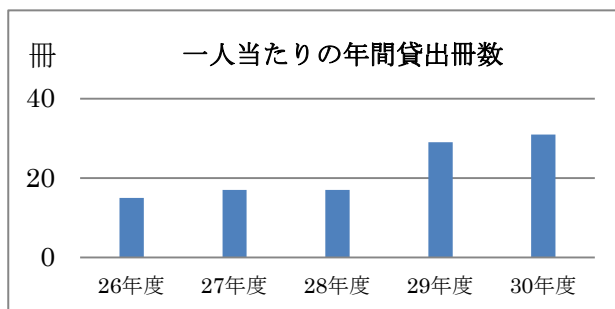


食育指導の一環として「図書と給食のコラボレーション」を行った。物語に登場する料理が給食になって出されることで読書意欲の喚起にも繋がった。

3 成果と今後の課題

(1) 成果

最近5年間の一人あたりの年間貸出冊数は年々増加している。30年度は12月までの統計である。



(2) 課題

各学年の今年度の貸出冊数をみると、学校図書館から教室が近い学年が多くなっている。学校図書館から遠い学年に、より多く借りて読んでもらえるような魅力ある学校図書館づくりが課題である。